

広報

あさひ



9

朝日町役場 ■ 〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎0765-83-1100

2013



CONTENTS

朝日町町政功労表彰	2
防災週間	3
囲んぼアート	4

平成25年度 朝日町町政功労表彰 永年の功績をたたえて

朝日町町制施行記念日の8月1日、平成25年度朝日町政功労表彰が役場4階大ホールで行われました。今回表彰を受けられたのは、地方自治功労、交通安全功労、環境厚生功労、産業経済功労、教育文化功労、町政功労の6部門、8個人の皆さんです。皆さんのご尽力に対し、心から感謝申し上げます。



表彰を受けられた皆さん
(後列左から) 竹内副町長、白本節子さん、口岩俊さん、廣田克美さん、殿村謙太郎さん(故人)の代理・(子)和夫さん、永井教育長
(前列左から) 高倉盛安さん、松倉利喜さん、脇町長、水島議長、菊地克信さん、山崎久夫さん

地方自治功労

口岩 俊 (宮崎)
宮崎地区自治会長として地方自治の振興に尽力

教育文化功労

殿村 謙太郎 (故人・中道下)
朝日町文化財審議会委員並びに副会長として町の文化財保護研究に尽力

交通安全功労

白本 節子 (桜町)
朝日町交通指導員として地域の交通安全指導並びに安全確保に尽力

松倉 利喜 (富山市在住)
早稲の香俳句会実行委員長として俳句普及事業に尽力

環境厚生功労

高倉 盛安 (黒部市在住)
朝日町環境調査審議会会長として環境保全の推進に尽力

廣田 克美 (東草野)
朝日町社会教育委員並びに朝日町児童クラブ連合会会長として生涯学習の振興と青少年の健全育成に尽力

産業経済功労

山崎 久夫 (舟川新)
花と緑の銀行朝日支店大家庄地方銀行頭取として町の緑化推進に尽力

町政功労

菊地 克信 (神戸市在住)
関西朝日会会長として郷土朝日町の発展に尽力

(功績部門別基準表記記載順および年齢順・敬称略)

8月30日から9月5日までは

防災週間

近年、全国各地において地震や台風・大雨・高波などによる自然災害が多発しており、防災に対する関心も高まっています。日頃から避難場所の確認や非常時の持ち出し品の準備、町内

会や班単位による安否確認のための連携・協力など、災害に対する備えを心掛けましょう。また、万が一災害が発生しても、慌てず落ち着いて行動しましょう。

8月30日から「特別警報」運用開始

・数十年に一度の大雨などが予想された場合に、特別警報を発表します。
・特別警報が出た場合、命を守るために情報の収集に努めてください。

全国瞬時警報システム(Jアラート)による自動放送試験を実施します

9月11日(水) 放送予定時間(2回実施されます)
1回目: 午前11時00分頃
2回目: 午前11時30分頃

地震・津波や武力攻撃などの非常時に、国から送られてくる緊急情報が確実に伝達できるかを確認するため、全国瞬時警報システム(Jアラート)による全国一斉の緊急情報伝達試験が行われます。

当日は試験放送が流れますので、緊急時とお間違えのないようお願いします。

試験の方法

防災行政無線及びラジオ付戸別受信機から、次のとおり一斉放送されます。



「これは試験放送です」⇒3回繰り返し

↓
防災行政無線チャイムが鳴り、放送を終了します

防災行政無線の放送が聞ける ラジオ付戸別受信機

引き続き申込受付中です。
(1台1,000円、2台目以降7,000円/台)
詳しくは役場総務課まで



家庭で話し合いましょ！防災対策

①緊急時の連絡先の確認

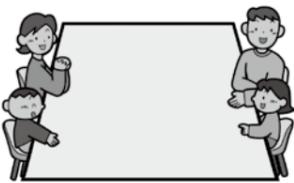
災害が発生したとき、家族がそろっているとは限りません。会社や学校などの連絡先を一覧にしておきましょう。

③災害発生時の役割分担

火の点検・始末をする人、避難するとき誰が何を持ち出すかなど、家族の役割分担を決めておきましょう。

②安否の確認方法

災害発生時に家族が落ち合う場所を決めておきます。安否確認情報を取り次いでいる親戚や知人(遠方に住んでいて被災していない人)もあらかじめ決めておきましょう。



④非常備蓄品の持ち出し品の確認

非常食や生活用品、救急用品、常備薬など、避難時やその後の生活に最低限必要なものを袋にまとめておきましょう。



問い合わせ 総務課 (☎役場内線225)

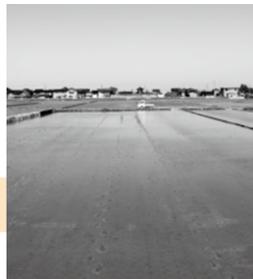


特集 田んぼアート

田んぼアート完成までの軌跡



まずは、下準備。田んぼに図面を描くため、枠転がしを行います。



5月下旬

スタート

田んぼアートの制作が始まります。大きなキャンバスに今年は、ヒスイ太郎を描きます。



▲図面



6月上旬

田植えの開始です。図面を見ながら、分担して作業を行います。



10人で作業すること丸1日。田植えが終わりました。稲の成長が待ち遠しいです。



8月上旬

9月末に稲刈りをし、アート米として販売する予定です。



7月中旬

田植えから1ヵ月半。より鮮明になってきました。異なる種類の稲が色づけば、完成です。



6月中旬

少しずつ、ヒスイ太郎の顔が浮き出てきました。

完成！田んぼアートに携わったすべての人の思いが形になりました。

▲8月19日上空より撮影

田んぼアートとは、田んぼをキャンバスに見立て、現代米と「古代米」と呼ばれる古代に栽培された色の異なる稲を使用して、巨大な絵を作り出すプロジェクトです。田んぼアートには、真上から見ると歪まずに一番よく見えるものと、見る視点を固定してそこから歪まずに見えるものの2種類があります。近年、田んぼアートは、全国各地で行われており、地域の魅力発信、観光資源の一つとして多くの人の目を惹きつけています。

朝日町では、舟川べり付近の田んぼで、平成18年から制作されています。田んぼアートを手掛けているのは、舟川新の山崎久夫さん（チュウリストやまさき）。これまで、チューリップやミツバチ、芸子、お地蔵さんなど様々なテーマで制作してきました。

舟川の堤防沿いを歩きながら、田んぼアートを見て散策を楽しんでもらえるように、また、春の桜だけでなく年間を通して、たくさんの方に舟川べりに訪れてもらおうと取り組んでいます。

今回は、田んぼアート完成までの取り組み、そして、制作者である山崎久夫さんのインタビューを紹介します。

多くの人に喜んでもらいたい！

田んぼアートを始めたきっかけ
お米を扱うお客さんの中に、花木を利用して山に絵を描く方がおられ「田んぼでもできないだろうか」との思いから、10年前に田んぼアートを始めました。初めは、何種類かの稲を一つの田んぼに植え、色をつける程度でしたね。

今回のテーマ
「町を盛り上げる」。町民の方に関心を持ってもらいたい！との思いから、今回の田んぼアートをヒスイ太郎にしようと思決めました。

田んぼアートの魅力
以前、田んぼアートを見学しに来た方から「何のために田んぼアートをやっているのですか」と聞かれたことがあります。私はすぐに「これ（田んぼアート）がなければ、あなたと出会うことはありませんでした」と言いました。

今後の目標
朝日町のみならず、舟川べりのよさを町内外に発信していきたいです。

また、将来の目標は、舟川の堤防沿い全体を田んぼアートで埋め尽くし、ギャラリィにすることです。

まずは、町民の皆さんに楽しんでもらいたいと思います。そして、田んぼアートが朝日町の活性化の一助となれば幸いです。

Interview 山崎久夫さん



ビーチボールのチカラ vol.6

～歴史×魅力×技術＝ビーチボールマスター～

富山県置県130年記念
第30回記念全国ビーチボール競技大会

～9月14日(土)・15日(日)
サンリーナほか～

毎年恒例の「全国ビーチボール競技大会」は、今年30回の節目を迎えます。

第30回記念大会となる今大会には、北は岩手県花巻市から、南は広島県坂町まで、全国20都府県、88市区町村から371チーム、1,854名の選手が参加されます。

なお、栃木県、福井県、大阪府、兵庫県からも今回初めて大会に参加いただくこととなりました。地元朝日町からは男女18チームが出場します。

男女8部門で優勝を目指し、選手たちが白と緑のボールを追いかけます。白熱した試合を繰り広げる選手のプレーを、ぜひ会場でご覧ください。また、今大会が30回の節目を迎えることから、大会同日にサンリーナ周辺でイベントを開催します。イベントの内容や詳細については、広報と同時に配布したチラシをご覧ください。

問い合わせ サンリーナ ☎83-1838



広報 de ほっこりマルシェ

～つながる、つなげる あさひの宝～

マルシェ：フランス語で「市場」という意味

金森來珀くん
かなもりくれば
下山新の金森涼哉・
優さん夫妻の長男
(平成22年9月1日生)

吉井真斗くん
よしいまんと
清水町の吉井宏輔・
千絵さん夫妻の長男
(平成21年11月10日生)

うちの元気印

私の夢は、美容師になることです。理由は、テレビや本などを見ていて、髪を切っている姿がかっこいいと思ったからです。私がしてあげたヘアスタイルで笑顔になってくれたらうれしいです。たくさんの人を笑顔にできる美容師になりたいです。



おだりお
尾田理緒さん
(よこお)
さみさと小学校6年

夢に向かって羽ばたけ！ 未来の主役たち



たなか
田中 颯くん
(境)
さみさと小学校6年

多くの将来の夢は、プロ野球選手になることです。理由は、野球が大好きだからです。ほくは今、スポーツ少年団で野球をしています。夢を叶えるために、素振りやキャッチボールを毎日欠かさず行い、少しでも上達するように努力しています。

私の将来の夢は、ネイリストになることです。7歳の頃からネイルというものに憧れていて、いつか自分のお店を持ちたいと思ったからです。来店されるお客さんに合った、きれいなネイルをして、たくさんの人に喜んでもらいたいと思います。



しまだじゅら
島田珠羅さん
(柳田)
あさひ野小学校6年



ばんどうことみ
坂東琴美さん
(西町)
さみさと小学校6年

私の夢は、パティシエールになることです。理由は、東北の大震災で家族を失った子どもたちに、自分が作ったケーキを食べてもらいたいからです。震災の悲しさを少しでも忘れることができるようなケーキを作り、懸命に生きてもらいたいです。

桜町保育所の巻

「これは…？」 (3歳児)
園庭でまっぼっくりを拾って登所してきた、1歳児のTくん。
S「先生、Tくん何かもつてきた！」
保育士「保育所に来るとき、拾ってきたんやっ！」
S「Tくん、これ知ってるよ！プロッコリーやろ！」
保育士「えっ…？これは『まっぼっくり』だよ。」
S「あつ、まちがえた。」
可愛らしい間違いをしたSくんでした。

「オシヤレ」 (4歳児)
A「先生、昨日イオン行ってきたん！」
保育士「いいや。何してきたの？」
A「ポケモンのゲームとか、アイスも食べたよ！」
保育士「先生も行ったかったな。」
A「あつ、新しいズボンも買ってもらったよ！」
保育士「かっこいいの買ってもらったん？」
A「うん！明日はいてこようか？先生見たいやろ？」
はいてきてほしいやろ？」
と、一番はきたいのAくんでした。

「どんな遊び?!」 (5歳児)
R「先生、お兄ちゃんね、鉄砲買ってもらったんに、全然遊ばんが。」
保育士「せつかく買ってもらったんにね。」
R「うん！」
保育士「じゃあ、お兄ちゃん、いつもどんな遊びしてるの？」
R「ランとね、いつもかっこつけて遊んどる!!」
保育士「…?!」
どんな遊びなのかな(笑)



▲ももを収穫しました!